

市民活動団体 応援コーナー

このコーナーは、毎月1日号で、市内で活動する皆さんの主催するイベントや会員募集を紹介するものです。

掲載申込みの詳細は、市ホームページをご覧ください。

◎広報広聴課 ☎983・2620

三島市 市民活動団体応援

平成30年5月1日号への掲載の申込みは、3月23日(金)までに、広報広聴課
✉kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

広報みしま	締切日
平成30年6月1日号	4月26日(休)
平成30年7月1日号	5月25日(金)
平成30年8月1日号	6月28日(休)

文化

三嶋暦の会「初午寄席」

時 3月18日(日)午後1時30分～3時30分
場 三嶋暦師の館 ※駐車場なし
落語：春風亭伝枝 ▶ 切り絵：水口千令
小学生以上 観200円 (小学生無料) 観先着90人
三嶋暦師の館 ☎976・3088

イーゼル会「チャリティー展」

時 4月6日(金)～8日(日)午前10時～午後5時 (8日は午後4時まで)
場 Via701 ギャラリー
油彩、アクリルで風景、静物画など展示
観秋山 ☎090・1285・9266

スポーツ・健康

ミニバスケットボール教室生徒募集

時 4月7日～平成31年3月2日(土曜日) 午前9時30分～11時30分
場 前期：市民体育館、後期：錦田小体育館など
基本練習、試合
新4年生 観25人 観年1万円 ※会場、保険料など
3月20日(火)までに往復はがきに児童名、住所、電話番号、保護者名、学校名を記入し、渡辺憲治 ☎411・0903 清水町堂庭 205・3 観渡辺 ☎971・2055

フォークダンスせせらぎ会員募集 見学自由 お気軽にご参加ください

時 4月3日(火)午前9時30分～11時30分 (毎月第1・3火曜日) ※4月は3日、24日
場 中郷文化プラザ2階多目的ホール
初級、中級 観どなたでも 観月1,000円
観室内シューズ、飲み物、タオル、運動できる服装
観石川 ☎080・3647・5041

春季ソフトテニス教室 三島ソフトテニス協会

時 4月4日～6月20日 (毎週水曜日) 午後6時30分～8時30分
場 文教コート
小学生以上 観4,000円 (10回分) 観ソフトテニス用ラケット、シューズ
4月4日(火)午後6時コート入口で受付
観大庭 ☎080・2615・6911

初心者弓道教室生募集

時 4月4日～7月11日 (毎週水曜日) 午後7時～9時 (全15回)
場 三嶋大社弓道場
18歳以上 観5,000円
3月28日(火)までに往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号を記入し、藤内勉 ☎411・0023 加茂10・3 観藤内 ☎973・2388

初心者バドミントン教室参加者募集

時 5月12日～平成31年3月 (毎週土曜日・全30回) 午後7時～9時
場 市民体育館
観先着40人 観中学生以上 観1万1000円 (初回払い) 観ラケット (貸出あり)、靴
観三島市バドミントン協会・渡辺 ☎080・3281・4370

健康吹き矢会員募集

時 毎月3回土曜日午後1時～4時
場 市民体育館2階多目的室
観吹き矢で心身ともにリフレッシュしてみませんか
観月800円 (連盟会費300円含む) 観小学生以上
観日本吹き矢連盟三島支部・杉澤 ☎080・3078・9805

その他

第28回リベラ修了式 ～はなむけの発表会～

時 3月17日(土)午後1時30分～4時、開場午後1時
場 市民文化会館小ホール
当法人利用者や通所生の芸術活動を発表
観無料
観西野 ☎972・4344

仁藤夢乃講演会・私たちは「買われた」展 ～私にもできること～

講演会：3月16日(金)午後7時～9時、開場午後6時30分
場 プラサヴェルデ401会議室
観100人 観1,500円 ※要申込
展示会：3月17日(土)、18日(日)午前10時～午後9時 (18日午後5時30分まで)
※入場は閉館1時間前まで
場 プラサヴェルデ市民サロン
観前売り1,300円 ▶ 当日1,500円 (高校生以下無料) 観・3月15日(休)までに (一社) ひ・まわり・あべ ☎913・2629 (FAXも可)

上岩崎公園さくら祭

時 3月31日(土)午前10時～午後3時 ※小雨決行
場 上岩崎公園
地域の皆さんの交流の場、手作り品や参加型ワークショップ、地元グルメ販売など
観ジモット ☎986・2133

がんセルフケアクラブ会員募集

自分の健康を自分で守るための勉強会です。
観月1回
場 生涯学習センター
観無料
観・観浅井 ☎090・1237・0011 ※詳細は問合せ先へ

「市民活動団体応援コーナー」は電子メール・FAXで申し込みできます市ホームページで「市民活動団体応援」と検索し、ダウンロードしてください。併せて締切日も掲載していますので、ご利用ください。

企画展「新規収蔵品展—三島の明治から昭和—」は、6月3日(日)まで開催



▲昭和39年(1964年)の東京オリンピックで、三島にもやって来た聖火リレー

歴史の小箱

No.358

聖火リレーと

複製三四呂人形

—新規収蔵品展より—

郷土資料館で現在開催中の企画展「新規収蔵品展」より、聖火リレーの資料と複製三四呂人形第一号を紹介します。

六十代以上の人々には鮮明な記憶として残っている東京オリンピック(一九六四年十月)。敗戦から復興し、高度成長期に入り、生活の電化・欧米化が進み、未来は明るいと思われていた時代でした。

このオリンピック開会式前に聖火リレーが全国を走っています。三島にも聖火がやってきました。

寄贈された聖火リレー資料(ランニング、写真、手ぬぐい、バッジなど)の中の「三島市実施要項」によると、十月六日午後二時に三島広小路駅の西方で聖火を受け取り、大社前の通りを通過し、国道一号を箱根峠までリレーしました。三島市の担当区間は新町橋西までの1.6kmと、そこから初音松並木入口までの1.7kmの二区間でした。それぞれ二十三人のリレー隊員があり、十四〜二十歳の三島の住人で中・高・大学生および社会人の若いチームです。参加校は、

中学は北、南、東、坂、佐野、中郷中学校。高校は三島日大、北、南、葦山、修善寺工、沼津市立高校の名が見えます。

「走行の要領・受渡の要領」には「全員足並みをそろえて走る」「時速十二km」「受渡し後、正走者は十秒間六十度の角度で高くトーチをかかげる」などの指示がみえます。隊列や走り方、トーチと五輪旗受渡しの手順が細かく決められており、世界に恥ずかしくないオリンピックにしたい、という思いが伝わってきます。

当時中学生で参加した資料寄贈者は、「六十代後半になりま

したが、二年後の東京オリンピックにも再び聖火リレーで参加したい。」と元気に話しています。

また、元教育長増島芳衛氏が愛蔵していた複製三四呂人形第一号「人形持ち」の寄贈を受けました。

三四呂人形は三島出身の人形作家・野口三四郎(一九〇一〜三七)によって作られ、子どもを題材とした、主に張子の技法による作品「桃子」「里子」などが多数あります。

三四郎没後の一九五六年、県校長協会総会が三島市で開催された時、校長先生たちへのお土産として、三四呂人形の複製品を思いついたのは当時の教育長増島氏でした。陶器で「人形持ち」の複製品を作り、彩色を施して配られました。制作したのは美術教諭の遠藤春雄氏、瀬川真氏、宇野東光氏、大沼貞夫氏などでした。人形の裏に「三島校長会」などの朱印が押されています。

翌年、三島母親の会により複製三四呂人形の製作販売が始まり、長く伊豆・三島の土産となります。

わたしの おじいちゃんおばあちゃん

当番 なんぶ いおなさん

私のおばあちゃんは、編み物の先生をしています。昨年亡くなった私のひいおばあちゃんが五十年前に始めた教室の後を継いで、たくさん生徒さんに編み物を教えています。たくさん生徒さんが皆違う作品を作っているのに全部教えられるのがすごいと思いました。お母さんと私が引き継いでいけたらと思います。おじいちゃん、いつも私達の面倒を見てくれます。小さいころは色々な所へと連れて行ってくれたのをとてもよく覚えています。私は、二人が大好きです。



菅藤 健・厚子
南部 依央菜(西小4)